

奈良少年刑務所の赤煉瓦建物の保存・活用

施設概要

所在地： 奈良市般若寺町
敷地面積： 10万6,000㎡
延床面積： (庁舎) 2,800㎡
 (収容棟) 1,400㎡×5棟
設計： 山下啓次郎 (司法省営繕課長)



建築年度： 明治41年 (煉瓦造)

文化的価値

<歴史的・学術的価値>

- 不平等条約改正 (明治34年) 後の監獄の全国的再編成として建てられた**5大行刑施設** (千葉, 長崎, 鹿児島, 金沢, 奈良) の1つ。
- 建物全体の現存は奈良少年刑務所のみ。

<意匠的・技術的優秀さ>



保存・活用

~文化庁, 日本建築学会等から高い関心~

公営施設等運営権制度 (コンセッション制度) を利用し, 地域活性化のため国有財産である文化財建造物の有効活用を図りつつ, これらを適切に保存し, 併せて国に必要なインフラを整備することが可能。

